

2021 年度 第 6 回関私教協幹事校会議事録

1. 日時 2021 年 9 月 27 日（月）18：30～19：30

2. 形態 Zoom 会議

3. 出席者

【幹事】眞田 克典（東京理科大学・事務局長）、鈴木 麻里子（東京家政学院大学・事務局次長）、齋藤 史夫（東京家政学院大学・事務局次長）、大島 真夫（東京理科大学）、齋藤 智志、渡辺 恵（杏林大学）、山本 智子（国立音楽大学）、荒木 裕貴（共立女子大学）、鈴木 隆弘（高千穂大学）、戸川 点（拓殖大学）、下田 好行（東洋大学）、長嶺 宏作（帝京科学大学）、瀬川 大（日本女子体育大学）、吉田 真理子、伊藤 民子（洗足学園音楽大学）、片岡 祥二、鈴木 美岐子（共栄大学）、佐々木 竜太（清和大学短期大学部）

【事務担当】常盤 朋子（東京理科大学）

【オブザーバー】今井 菜津子（国立音楽大学）

4. 協議

〔報告事項〕

（1）研究部の活動について

○部会の活動について

- ・第 1 部会：第 2 回の部会を 9 月 25 日（土）14 時から Zoom で開催し、18 大学 27 名の方にご参加いただいた。前半は校種の異なる 3 名の現職校長先生方から「各校種から見た新型コロナウイルス感性症禍における教育実習の実際～現状や課題など～」について、教育実習生を受け入れる小学校、中学校、特別支援学校それぞれの立場から課題等について講演いただいた。後半は、母校実習の状況等および教育実習に関わるメディア授業に関するアンケート案について協議を行った。
- ・第 2 部会：9 月 12 日（日）14 時から部会を開催し、13 名程度の参加があった。来年 4 月から義務化される教職課程における自己点検評価について、および全学的な教職課程運営に関するアンケートの継続審議について情報共有を行った。次回は 11 月に部会を行う予定である。
- ・第 3 部会：第 2 回の部会は、省令改正（「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」に関する講義科目設置）に伴い、教職課程カリキュラムの変更に対する各大学の対応を議論・検討することとして、10 月 17 日（日）に開催予定である。
- ・第 4 部会：第 2 回部会を 9 月 25 日（土）15 時から Zoom で開催し、コロナ禍における教育実習の状況と課題について、参加校と情報交換をした。
- ・第 5 部会：9 月 18 日（土）に Zoom にて第 2 回公開研究部会を開催した。部会員 9 名に加えて、部会外から 11 名の参加があった。第 1 部は植草学園大学の野口芳宏先生から、「大学における教員養成の提言」と題して教員養成における課題について講演いただいた。第 2 部は部会員に限り、今年度の一次試験結果を受けて各大学の状況について

情報交換を行った。次回は 12 月に今年度の採用試験の状況に関してさらに検討を加える予定である。

- ・第 6 部会：9 月 21 日（火）に第 1 回の部会を開催し、昨年度集めた各大学のハラスメント規程の分析報告と意見交換を行った。
- ・第 7 部会：9 月 15 日（水）18 時から Zoom で東京家政学院大学の齋藤史夫先生に算数科教育実践について講演いただき、8 名の参加があった。
- ・第 8 部会：10 月 11 日（月）18 時半から、自己点検評価報告書作成の手引きについて、大正大学の滝沢先生にご講演いただく予定である。

○地域の活動について

- ・千葉・茨城地域部会：8 月 2 日（月）13 時半からオンラインで定期総会、第 1 回研究会および情報交換会を行った。研究会は大学での教員養成は学校現場のニーズに適合できているのか～「個別最適化された学びと共同的な学びのベストミックス」をテーマに、京都女子大学の谷川 至孝 特任教授に講演いただいた。引き続き、教職課程の自己点検・評価についてブレイクアウトルームを活用して各大学の対応事例の情報交換を行った。
- ・神奈川・山梨地域部会：活動の具体について検討中である。
- ・北部地域部会：第 1 回協議会を 17 大学 28 名にご参加いただき、9 月 25 日（土）10 時から Zoom で開催した。前半は中教審『令和の日本型学校教育』を担う教師の在り方特別部会』委員の埼玉県戸田市教育委員会・戸ヶ崎教育長から「戸田市の教育改革」というテーマで、戸田市の教育改革をはじめ、現在国が取り組んでいる教育関係改革などに触れながら、これからの教員養成大学のあり方について、ご講演いただいた。後半は、介護等体験・教育実習に関して、および教職課程認定基準・教育職員免許法施行規則等の改正に関して、各校の取り組み状況などをお話いただき、情報交換を行った。

（2）『会報』第 90 号の編集について

下田広報部長より、一部原稿を残して、校正グラが出来上がっている段階との報告があった。

（3）次期幹事校へのアプローチについて

眞田事務局長から、資料 1 に基づき、今年度で任期満了となる幹事校に対して、各地区における後任の幹事校候補大学を選出する作業を依頼し、担当教員氏名および事務の連絡先について報告いただきたいとの説明があった。

なお、千葉・茨城地域は輪番により聖徳大学から内諾を得たことの報告があった。北部地域は別に定めている輪番表により東京国際大学が決定しており、関私教協の HP 担当についても了解を得たとの報告があった。短期大学について、2022-2023 年度は千葉敬愛短期大学、2024-2025 年度は東京成徳短期大学が担当されることの報告があった。

(4) 2021 年度会員校名簿について

眞田事務局長から、10 月に会員校へパスワード付きとして資料配付予定との報告があった。

〔審議事項〕

(1) 2021 年度第 2 回研究懇話会について

佐々木研究部長から、12 月 11 日（土）開催予定の第 2 回研究懇話会のテーマについては「教職課程の質保証・自己点検評価をめぐる現状と課題」とし、研究部会で協議した結果、全私教協の報告書から、教職課程の好事例調査で対象となった大学に、各大学での具体的な取り組みや課題などの事例を報告いただくことに特化した内容にすること、事例報告は関私教協に加盟している大学から 4 校に依頼をしていること、開催時間は 14 時から 17 時までとすること等の説明・提案があり、これを承認した。

(2) 加盟校の退会について

眞田事務局長から、資料 2 に基づき、令和 3 年（2021 年）9 月 7 日付けで千葉科学大学より退会届（2021 年度末）が提出されたことの説明があり、これを承認した。

(3) その他

第 7 回幹事校会開催予定 10 月 25 日（月）18：30～20：00

第 8 回幹事校会開催予定 11 月 16 日（火）18：30～20：00

第 9 回幹事校会開催予定 12 月 11 日（土）時間未定

5. 配付資料

資料 1：会員校輪番表

資料 2：退会届

以 上